

# 日本発ストリートダンスが発信する新たな芸術の波！ Dance Dance Asia マレーシア（クアラルンプール）ツアー2015 レポート

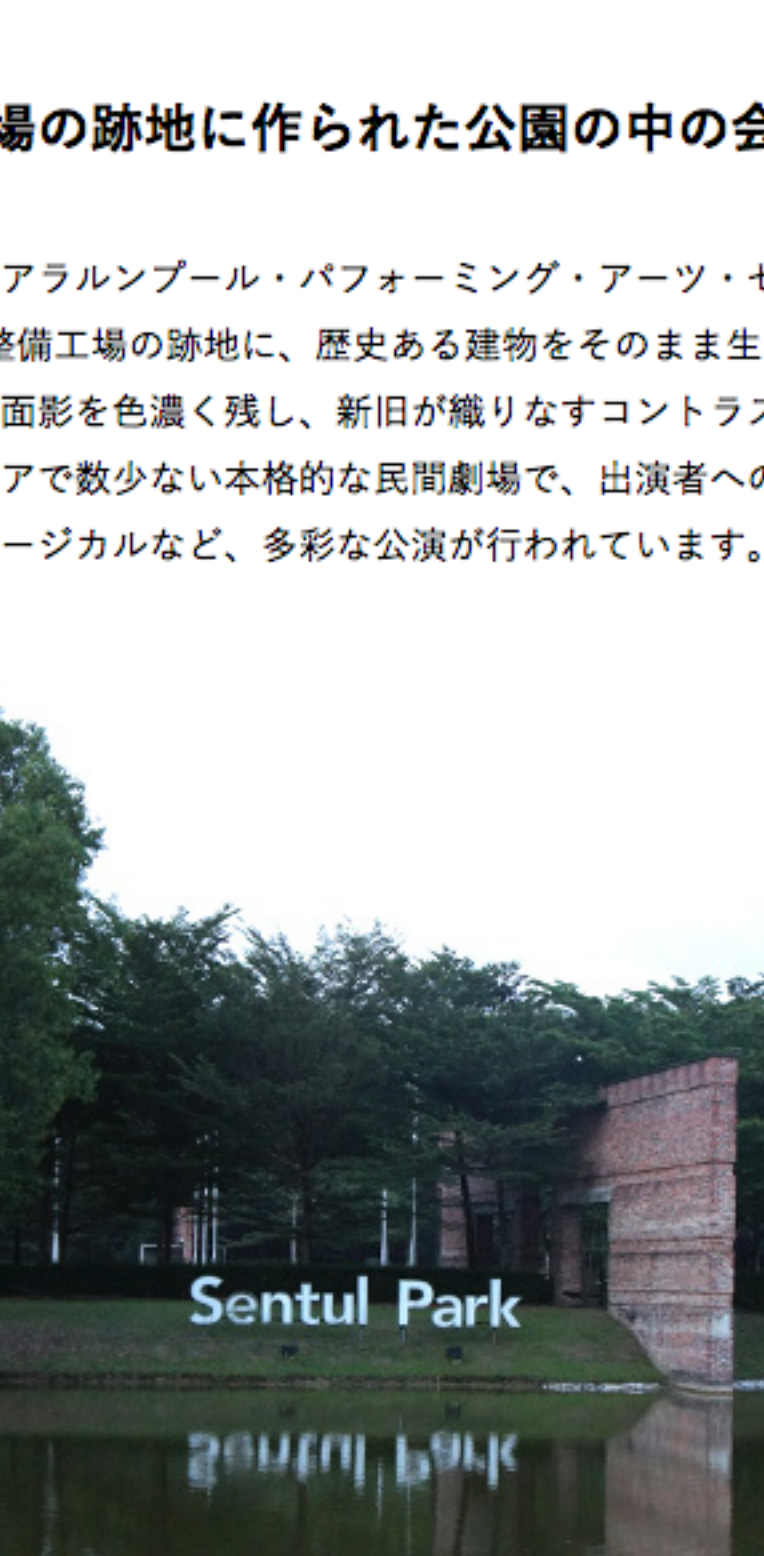
2015.02.25

いいね！ 1 ツイート 0

「ストリートダンス」をキーワードに活動するダンサーのアジア域内での交流、共同制作の支援を目的に2015年からスタートした「ダンス・ダンス・アジア〜クロッシング・ザ・ムーヴメント〜」プロジェクト。その第一弾として、日本の最先端のストリートダンス系カンパニーによる東南アジア4カ国公演ツアーが実現。フィリピン・マニラに続き、2カ国目となるマレーシア・クアラルンプール公演（2月6-8日）取材しました！

マレーシア公演に出演するのは、ストリートダンスシーンのパイオニアとしてトップを走り続ける「WRECKING CREW ORCHESTRA」、時間と空間を支配する芸術家集団「タイムマシーン」、日本男子新体操界初のプロパフォーマンスユニット「BLUE TOKYO」の3組。

\*キャストの詳細はこちら：<http://dancedanceasia.com/cast/>



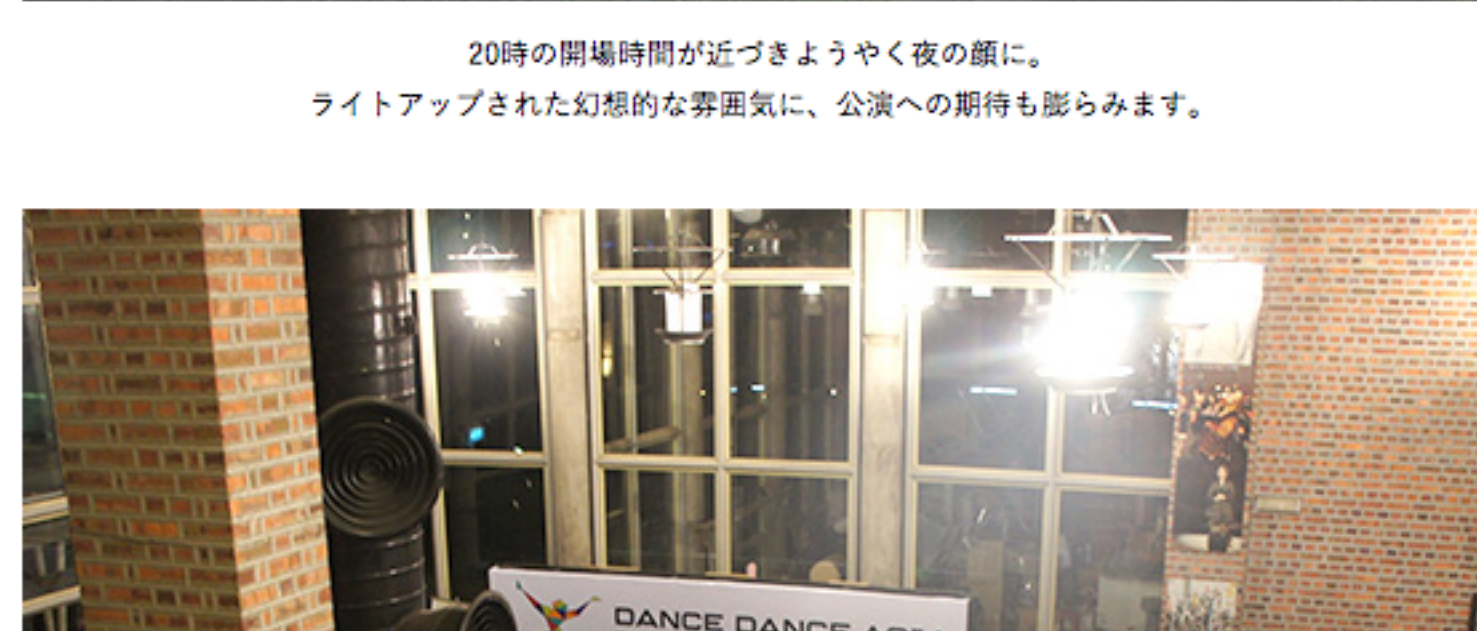
マレーシア（クアラルンプール）ツアーのイベント。3日間全3公演に加え、各出演者によるワークショップも開催されました。

## 旧電車整備工場の跡地に作られた公園の中の会場「klpac」

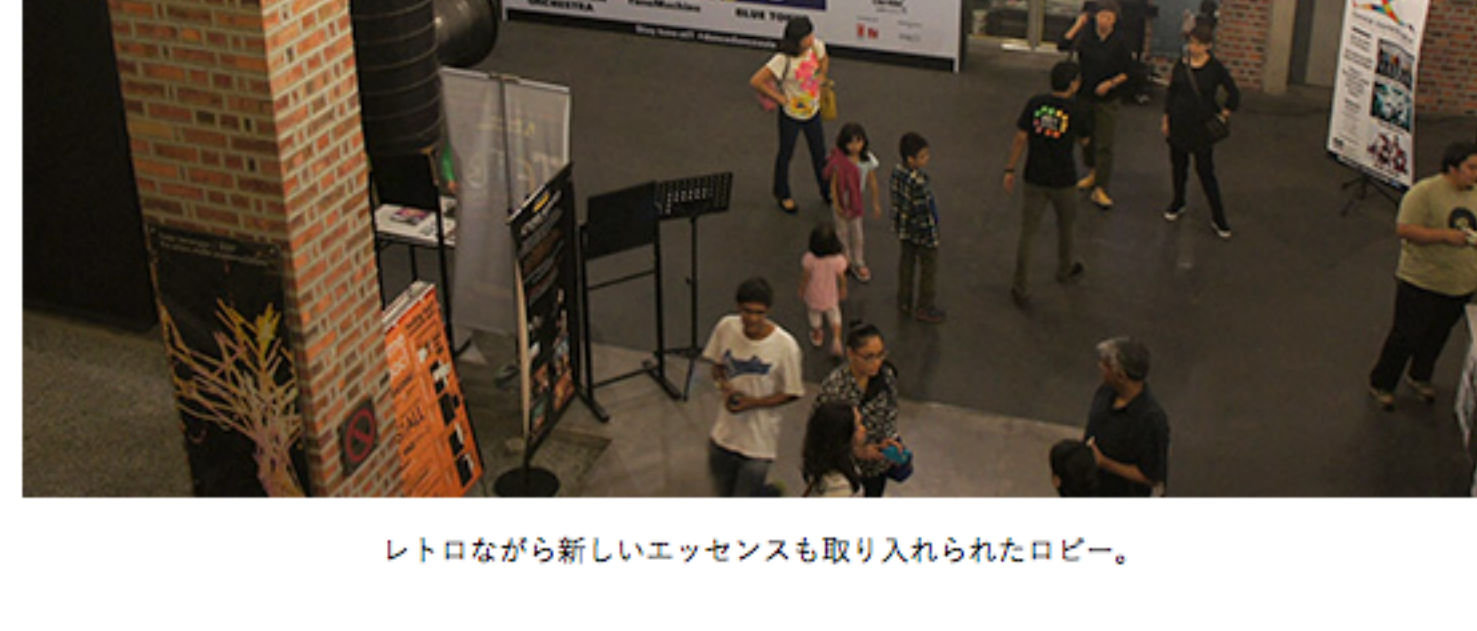
会場となるのは、クアラルンプール・パフォーミング・アーツ・センター、通称「klpac」。鉄道の整備工場の跡地に、歴史ある建物をそのまま生かして設計された館内は、整備工場だった面影を色濃く残し、新旧が織りなすコントラストが面白い趣のある空間です。マレーシアで数少ない本格的な民間劇場で、出演者への門戸も広く、コンサート、ダンス、ミュージカルなど、多彩な公演が行われています。



「klpac」は広大なSentul Park内にあります。19時過ぎまで明るい公園内。一旦つく人達が散見される憩いの場所。



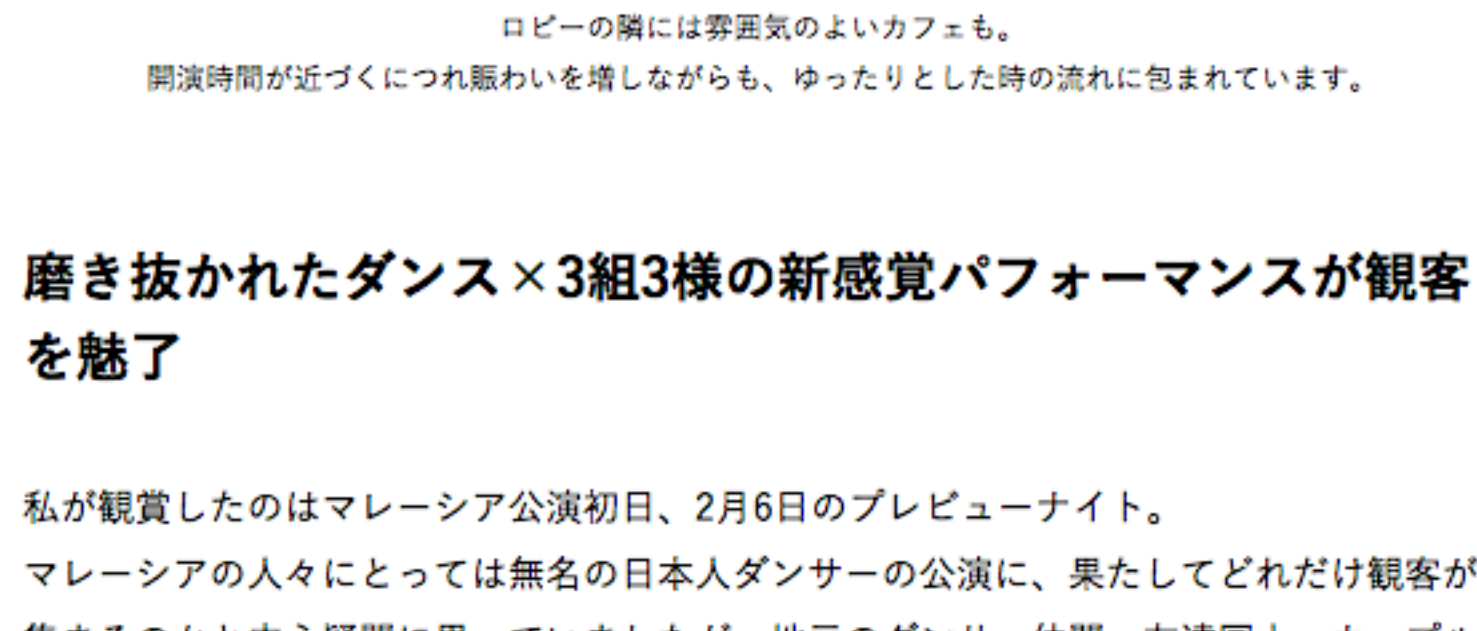
「工場？」と一瞬見間違ふ、この古い建物が会場です。



20時の開場時間が近づきようやく夜の顔に。ライトアップされた幻想的な雰囲気、公演への期待も膨らみます。



レトロながら新しいエッセンスも取り入れられたロビー。



ロビーの隅には雰囲気の良いカフェも。開演時間が近づくとつれづれ賑わいを増しながらも、ゆったりとした時の流れに包まれています。

## 磨き抜かれたダンス×3組3様の新感覚パフォーマンスが観客を魅了

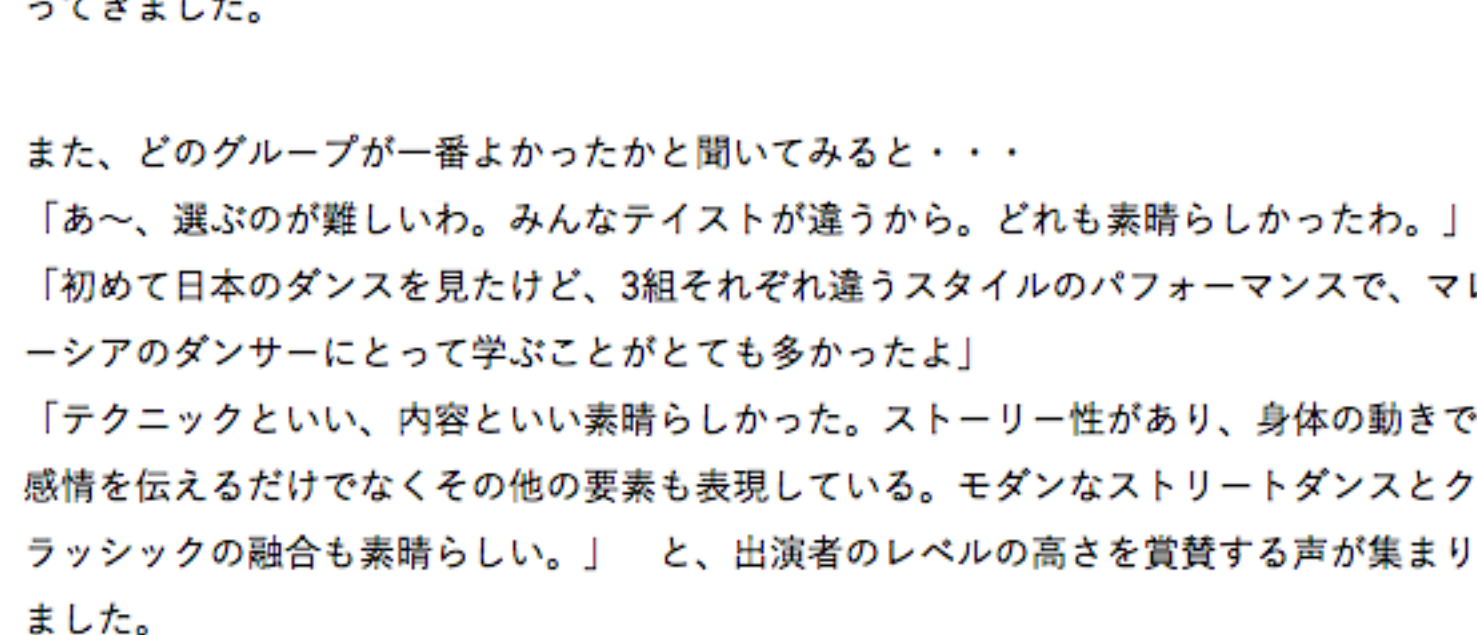
私が観賞したのはマレーシア公演初日、2月6日のプレビューナイト。マレーシアの人々にとっては無名の日本人ダンサーの公演に、果たしてどれだけ観客が集まるのかと内心疑問に思っていました。が、地元のダンサー仲間、友達同士、カップルなど様々なグループ、民族が集まり、約8割が埋まる大盛況。最初の「BLUE TOKYO」が登場するなり、拍手に指笛が鳴り響く大歓迎ムード。「あれ、みんなファンなの？」と錯覚するような盛り上がりでスタートしました。

トップバッターは重厚な音楽からスタートしたBLUE TOKYO。男子新体操の競技で磨き抜かれただけあって、指先からつま先まで研ぎ澄まされた完璧な美しさで表現する世界は、どこか不気味ささえ漂います。クライマックスに向かって散りばめられたダンスと圧巻のアクロバットに魅入るうちに、独特の世界観に引き込まれていきます。この「独特」の感じ、言葉では何とも表現できません！

そしてストーリー性に富んだ男女のユニット「タイムマシーン」。細部まで緻密に計算された仕掛け、ストーリー展開に、驚くべきディコントロール。黄帝心仙人さんが今回の作品のこだわりについて「ストーリーを重視しつつ、わかりやすさとわかりにくさの間を表現しています」と話した通り、わかったようでわからない！緻密すぎて、深すぎて、一瞬では理解できない！こちらも何とも不気味な世界観です。けれどBLUE TOKYOとタイムマシーンではテイスト異なる「不気味さ」なのです。「日本文化」×「不気味さ」のコラボは海外の人にとって新鮮かつ衝撃だったに違いありません。

トリを飾るのは「WRECKING CREW ORCHESTRA」。音を視覚化する」ここにこだわって作られた今回のステージには、大爆発あり、ノリのよい音楽あり、ソロにも魅せられ、コント風のストーリーにクラシックと、観客と舞台が一体となって歓声と笑いに包まれたショーでした。あくまで「スマートフォン」をベースに、これまでなかったような新しいダンスエンターテインメントを創り上げていることに驚きました。

3組3様の異なるパフォーマンスで観客を驚かせた今回のマレーシア公演。最後は出演者全員が舞台上に集まり、観客と一緒にダンスをし、大歓声のスタンディングオベーションの中、幕を閉じました。



大きな拍手喝采に包まれた出演者たち



エンディングは、観客にも誘ってもらおうという演出。立ち上がった観客が参加した会場全体のダンスで幕を閉じました。

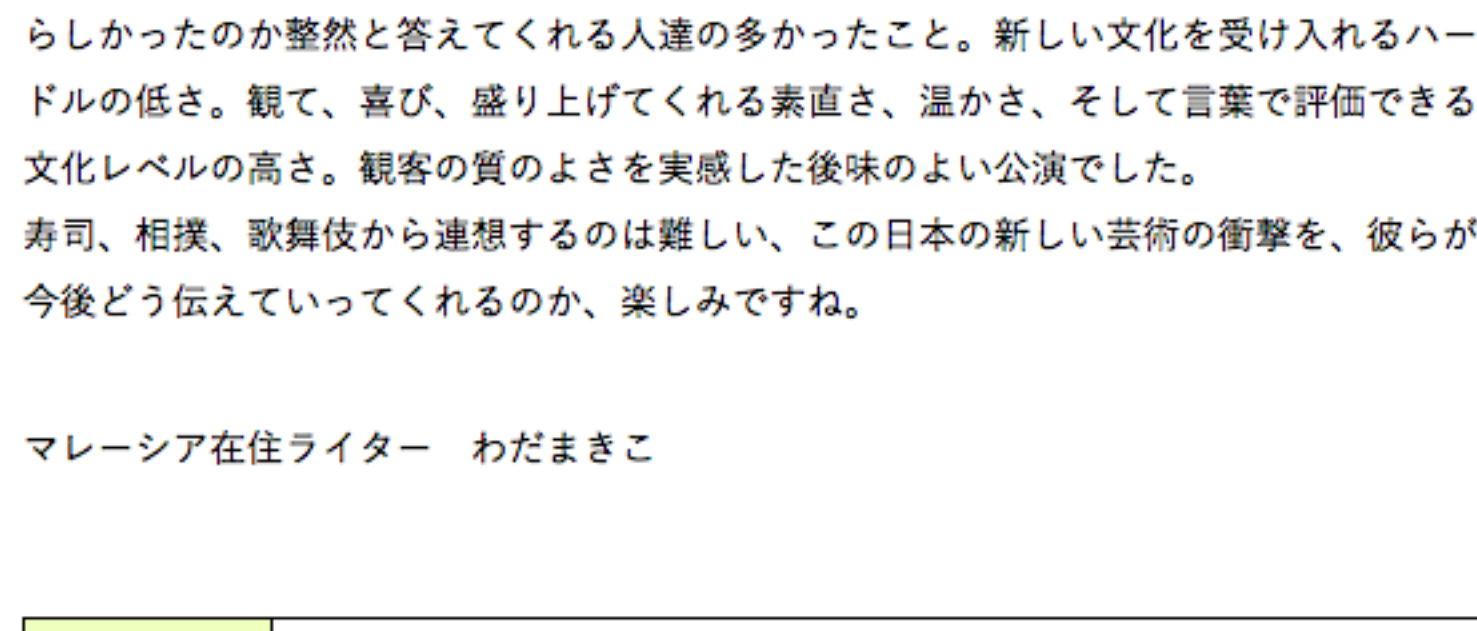
## "Fantastic(素晴らしい)!"が飛び交う観客の声！

公演後、熱気冷めやめぬ中、観客の皆さんに感想を聞いてみると、まず一言目には「Fantastic(素晴らしい)！」。更には、「とってもよかったわ。絶対、また見たい。日本に観に行きます」「エネルギー、創造性、素晴らしいダンス、優れたテクニックにパフォーマンス。どれをとっても素晴らしい奥が深いショーだったよ」と嬉しい回答が返ってきました。

また、どのグループが一番よかったかと聞いてみると・・・  
「あー、選ぶのが難しいわ。みんなテストが違うから。どれも素晴らしいわ。」  
「初め日本のダンスを見たけど、3組それぞれ違うスタイルのパフォーマンスで、マレーシアのダンサーにとって学ぶことがとても多かったよ」  
「テクニックといい、内容といい要素らしかった。ストーリー性があり、身体の動きで感情を伝えるだけでなくその他の要素も表現している。モダンなストリートダンスとクラシックの融合も素晴らしい。」と、出演者のレベルの高さを賞賛する声が集まりました。



笑顔で記念撮影する3人組



笑顔でインタビューに答えてくれた女性ダンサー2人組



「学ぶことが多いショーだった」と熱く語ってくれたダンサー3人組

インタビューを通して感じたのは、突然の質問にも関わらず、自身の言葉でどう素晴らしいのか整然と答えてくれる人達の多かったこと。新しい文化を受け入れるハードルの低さ。観て、喜び、盛り上げてくれる素直さ、温かさ、そして言葉で評価できる文化レベルの高さ。観客の質のよさを実感した最後のよい公演でした。

マレーシア在住ライター わだまきこ

|       |   |
|-------|---|
| 企画名称  | DANCE DANCE ASIA - Crossing the Movements -                         |
| 主催    | 国際交流基金アジアセンター   |
| 企画・制作 | 株式会社バルコ   |
| 制作協力  | 株式会社LAST TRAIN GETTER   |
| URL   | <a href="http://dancedanceasia.com/">http://dancedanceasia.com/</a> |

## マレーシア（クアラルンプール）ツアー

|    |  |
|----|--|
| 日時 | 2015年2月4日(水)～9日(月)                             |
| 会場 | 会場クアラルンプール パフォーミング・アーツ・センター / ベンタス1            |
| 出演 | WRECKING CREW ORCHESTRA / タイムマシーン / BLUE TOKYO |

## この事業についてもっと知りたい！



この記事は、TRIPPING!と国際交流基金アジアセンターの協力により、作成されています。



「TRIPPING! (トリッピング)」とは……海外旅行を楽しみたい人に向けて、海外に暮らす日本人レポーターがローカル情報をリアルタイムに発信する、「生活しているからこそわかる旬な情報」を集約した旅情報サイトです。まるで現地に住んでいる友人におすすめスポットを尋ねるような感覚で、現地の「いま」を知ることのできる旅サイト「TRIPPING!」は、出発前に情報収集の時間が十分に取れない旅行者や、ユニークに海外旅行を楽しみたいと願う旅行者の皆さまにとって、渡航先での楽しみがさらに広がることを目指しています。

URL：<http://tripping.jp/>

いいね！ 1 ツイート 0

アジアにつながる文化の輪！